

# 施工手順 (WD-110(60L)/WD-110L ハット型根太用 鋼製束)

この「施工手順書」は、施工者の方用に、基本的な手順・注意事項をまとめたものです。  
 施工される現場の状況により、条件等が変わる可能性があります。ご不明な点があれば、お問合わせ下さい。  
 尚、束ピッチ・根太ピッチ(大引ピッチ)、端部納まりなどの下地納まりは「デッキ下地マニュアル」をご参照下さい。

[ツカ・カナモノ株式会社](http://tsuka-kanamono.co.jp)

## ① 材料の確認



設置場所・設計図面に合せて材料をご用意下さい。

## ② 根太位置の墨出し



床面に根太位置の墨出し<sup>※1</sup>をします。

※1墨出し・・・工事中に必要な線や位置などを床や壁に表示する作業。

## ③ 現場の勾配確認



水勾配が有る場合は、事前に測定を行い、設計図面通りかを確認します。

(選定した鋼製束の調整範囲内であることを確認しておきます。)

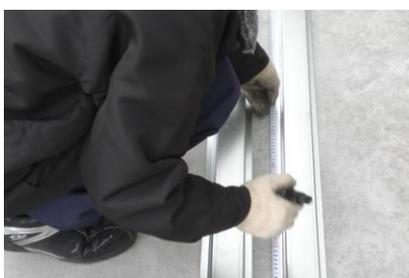
## ④ 根太の切断



必要寸法を罫書き<sup>※2</sup>して根太を切断します。

※2罫書き・・・材料に線や目印を描き、(けがき) 穴あけの位置を決めたり切り出しやボルトの位置を決める(記入する)作業。

## ⑤ 根太に罫書き



根太に鋼製束の受プレート取付け位置の罫書きを行います。

ハット型根太の上からネジ止めを行いますので、根太の上面端部に束位置を記しておきます。

## ⑥ 床清掃



鋼製束を設置する床面の周囲をあらかじめ清掃し、ゴミ・ホコリ等を除去しておきます。

②の根太位置の墨出し線を消さない様に注意して下さい。

## ⑦ レベル調整



鋼製束を②の根太位置に仮置きし、鋼製束の高さを調整して、レベルを合せます。

(ハット型根太にボルトが納まりきらない場合は、ボルトカットします。)

## ⑧ 束位置の罫書き



鋼製束の位置を床面に罫書きします。

## ⑨ 鋼製束の本締め



レベル出しが完了し、鋼製束の高さが決定すれば、六角ナットを本締めします。

(21mmスパナ2本で下側のナットを押えつつ上側のナットを締めます。)  
 本締めの際は必ず工具をご使用下さい。

# 施工手順 (WD-110(60L)/WD-110L ハット型根太用 鋼製束)

## ⑩ 接着剤の塗布



鋼製束のベースプレート裏面にボンド「エフレックス」を約20g塗布します。

【屋外用接着剤 推奨品】  
ボンド「エフレックス」(コニシ製)  
(カートリッジガンをご用意下さい。)

## ⑪ 接着剤で貼付け



ベース面を床面にしっかり接地させ、接着剤が外周部から少しハミ出すくらいに広めになじむ様に押し付けて下さい。

## ⑫ コンクリート釘で釘打ち



接着剤による浮き上がり防止・養生までの固定補助の為、コンクリート釘を任意の対角に2本打ちます。

釘サイズ: #12×25または19  
(釘を打てない場合は養生期間をとる)

## ⑬ 根太の取付け(1)



⑤で根太に罫書きした目印に合わせて、鋼製束に根太を仮置きします。

レベル等を確認して、鋼製束の高さの微調整が必要な場合は、根太をネジ止めする前に済ませておきます。

## ⑭ 根太の取付け(2)

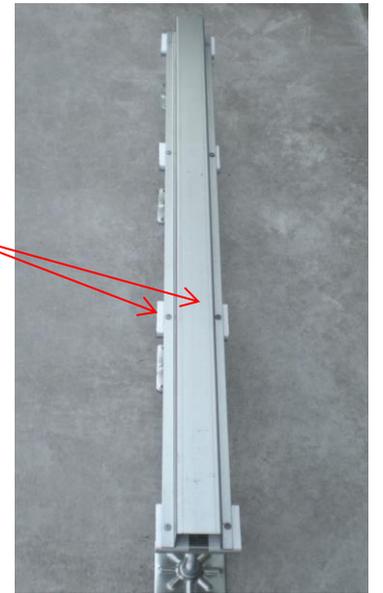


ネジ止め

ドリルビス  
なので下穴  
不要

鋼製束の本締めが完了している事を確認して、2本～3本の専用ネジでネジ止めしていきます。(通常は2本)

右写真の矢印の様に、両側中央部に1本ずつネジ止めします。



## ⑮ 最終確認



最終のレベル確認を行います。

以上で「デッキ下地材(鋼製束・根太)」の据付けは終了です。

デッキ材の施工にあたっては、各デッキ材の施工マニュアルに基づき、施工して下さい。

